広報
さめがわ
平成4年
12
No. 468



がんばった鮫川村チーム 村の部三位入賞！

11月22日、第四回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会で鮫川村チームは、昨年より七分十六秒縮める好記録で、総合二十位と堂々の成績をおさめました。

ふくしま駅伝



発行／編集　鮫川村総務課　〒978-04 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5 TEL(0247) 4 9 - 3 1 1 1　　印刷／佐藤印刷所

農村総合整備モデル事業
草木線工事始まる



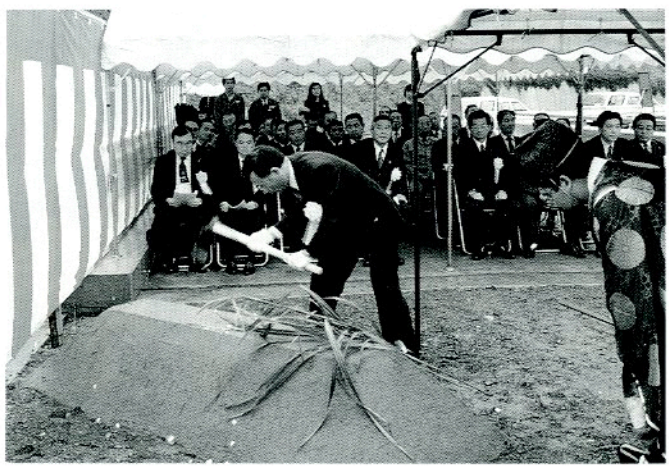
村の生産基盤と生活環境の整備を進める農村総合整備モデル事業の農業集落道草木線の起工式が、十一月十日草木地内で行われました。

農村総合整備モデル事業は、ほ場整備四団地、農道整備七路線、農業集落道五路線、営農飲雑用水施設一か所、用地整備四か所、農村公園施設整備四か所を総事業費九億八千万円で、平成十年度までの七年間にわたり実施します。

起工式には、村、県、地元関係者約三十人が出席し、鍬入れを行い、玉串をささげ、工事の無事完成を祈願しました。

引き続き、山村開発センターで起工祝賀会が行われ、事業着手を祝いました。

草木線は、赤坂東野字草木地内と国道三四九号線を結ぶ延長千百㍍、幅員五㍍の舗装道となり、平成六年度完成予定です。



法務大臣表彰
大楽　勝男さん



全国人権擁護委員連合会総会が10月21日福岡市で開かれその席上、人権擁護委員の大楽勝男さん（＝赤坂中野字大塩）が、法務大臣表彰を受賞しました。

大楽さんは、昭和45年から人権擁護委員を務められており、現在、白河人権擁護委員協議会副会長の職にあって、多年にわたり人権思想の啓発に尽力され、その功績によりこのたびの受賞となりました。

Congratulations

福島県知事表彰
松本　好雄さん



第43回福島県統計大会が10月30日二本松市民会館で開かれ、統計調査員の松本好雄さん（＝富田字鍬木田）が統計功労者として福島県知事表彰を、鮫川村統計調査員協議会が財団法人全国統計協会連合会長表彰を受賞しました。

この大会は、統計思想の普及啓発と統計関係者の士気高揚を目的に年１回開催されています。村では、29人の調査員がおり、各種統計にご協力いただいています。

福島県交通対策協議会長表彰
長井　久男さん



第31回福島県交通安全県民大会が10月28日福島市の県文化センターで開かれ、交通安全協会鮫川支部副支部長の長井久男さん（＝渡瀬字青生野）が、多年にわたる交通安全活動の功績が認められ表彰されました。

長井さんの交通事故防止に尽力された功績に感謝するとともに、今後一層のご活躍を期待いたします。

新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰
江田一夫さん・生田目旭さん・鈴木長一さん・長久保一進さん



11月11日、白河税務署で平成４年度納税表彰式が行われました。

この席上、江田一夫さん（＝赤坂西野字荻ノ沢・上段右）、生田目旭さん（＝西山字馬場・下段左）、鈴木長一さん（＝赤坂東野字大石草・下段右）、長久保一進さん（＝渡瀬字青生野・上段左）の方々が村税継続完納の推進に大きく貢献された功績が認められ、新白河地区納税貯蓄組合連合会長表彰を受賞されました。

栄えある受章おめでとうございます

短歌集「砂の力」で県文学賞
鈴木　順子さん



福島県の文学界で最高権威を誇る第45回県文学賞の短歌部門で、鈴木順子さん（＝西山字馬場・鮫川分校２年）が見事、青少年奨励賞に輝きました。

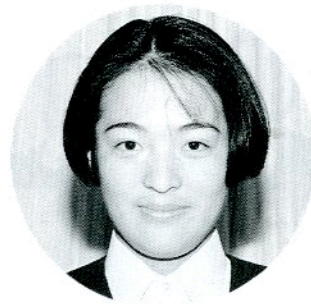
鈴木さんは、高校に入学してから短歌を始められ、20首の歌を詠んだ歌集「砂の力」を応募し、今回の受賞となりました。

表彰式は、「文化の日」の11月３日、福島市の県文化センターで行われました。

沢山の砂が一つに集まって砂は砂である力をもてり
渡されたタオルのぬくもり温かし頬にいつしか涙流れる
日が落ちて風が運びし虫の声わたしの部屋に静かに聞こえる
窓ガラス息を吹きかけ文字を書くわたしの陰が大きく映る
突きさざる北風受けて歩く子の頬に映りし紅葉の色
寒月のやさしい光あびながら音ひびかせて我が家に急ぐ
透き通る雲一つない冬空を雀むれなし飛び去りゆけり
道ばたに小さな小さな犬ふぐり笑顔を浮かべ春はきにけり
教室の空気がいやで窓の外いつもの山とあの空の色
順序よく入学式から今日までとアルバムに貼り胸にしまえり
霧雨をかきわけかきわけ夢のなか道なき道をさまよい歩く
教室のみんなの声が遠ざかり午後の授業を睡魔が襲う
パレットに赤い絵の具で絵を書こうだけど書きたい風景がない
千体の地蔵見守る殺生石横を流れる一本の川
遠足の写真のなかにまぎれなく時間を今によみがえらせている
窓の外風にゆられて緑葉の語りかけくる涼しげな昼
神社へと通ずる石段上りきり息をきらせて手と手を合わす
息づまる空気のなかで鉛筆の音だけ聞こゆ図書室の隅
図書室のページをめくる音がして目にとびこんでくる無数の文字よ
人参はぐつぐつ音たてあわだちて上がってはおどりおどっては隠る

鈴木恵美子さんが最優秀賞

―全国中学生人権作文県大会―



福島地方法務局と県人権擁護委員連合会主催の全国中学生人権作文コンテストの県大会で、鈴木恵美子さん（赤坂西野字酒垂・鮫川中三年）の「蛍の優しさ」が最優秀賞に輝きました。

障害者問題等人権をテーマにした作品約五千点の応募の中から選ばれ、更に全国大会に進みます。

作文を紙上に掲載します。

ある夏の日の夜空。窓から外を見ていると、蛍が一匹、ゆっくり私の目の前を通り過ぎて行きました。温かな柔かい光を放ちながら静かにそして淋しげに。

でも蛍は一生懸命暗闇を照らしながら、力の限りに飛んで行きました。

するとゴロさんの笑顔が不思議と目に浮かんでくるのです。

ゴロさんは、近所に住むとても親切で子供好きという心の優しい人です。私が幼かった頃もお遣いがてらによく家を訪れて裏庭でとれたプラムの入った三角袋を母に手渡し、

「恵美子ちゃん、恵美子ちゃん。」

といつもにこにこして、少しどもりながらも、何度も何度も名前を呼んでは、泣き虫だった私を抱きかかえてよくあやしてくれました。

この辺に住む子供達はみんなこうして育ってきました。だからゴロさんは、この辺の子供たちの名前、性格など全て知っています。悪い事をすれば大きな声で怒りますが、めったにあの笑顔を絶やすことはありません。

〝ゴロさん〟そんな呼び名をつけられるようになり、子供たちからも親しまれてきました。

ある時、今までずっと新聞配達をしてくれていた人が、急に亡くなりました。悲しみに沈んでいましたが、それから数日後新聞が来ないことに気づき、近所の人がみんな困っていました。

新聞配達は、わりと簡単そうだけれど、誰もがやりたいと思うものではありません。なぜなら、他人が眠っている間に一人起き出して、どんな天候の時でも近所じゅうをまわらなくてはならないし、到底わたしなんかにはできそうにないくらいだから誰だって忙しい毎日、やりたいなんて思う人はなかなか出てこないわけです。

すると、いつからかゴロさんが毎日のように新聞を配達してくれるようになりました。

時々早起きすれば、ゴロさんは決まっていつもの笑顔を見せて私に新聞を渡してくれます。

でも、そんなゴロさんの陰からの親切を打ち消すように、どこからともなくこんな言葉が私の耳に聞こえてくるのです。

「毎日暇でいいね。子供と遊んでればいいんだもの。」

「毎日近所じゅうの家の様子をうかがいに来るなんてねえ。」

そんな言葉を耳にする度に胸がしめつけられるようで嫌です。家の人にそのことを話すと、ゴロさんの昔についていろいろ教えてくれました。

ゴロさんは昔、病名はよく分かりませんが、重い病気で高い熱を出し、とても苦しんだそうです。そのせいで言葉があまりはっきりとは話せなくなってしまったのです。

だから、毎日の仕事といえば家の雑用をしたり子供をあやすことぐらいです。ゴロさんはいつもまわりの忙しそうな人を見ると、申し訳なさそうな顔をするのです。そして、邪魔にならないよう、すぐにどこかへ行ってしまいます。

だからきっとゴロさんは気を遣って新聞配達もやってくれたんだと思います。そんなゴロさんの唯一の楽しみはきっと、いろんな子供達の顔を見ることだったのかもしれません。子供たちの純粋な生命力を感じとることがゴロさんの生きがいそのものだったのです。

わたしも中学生になってから忙しさのあまり知らず知らずのうちにゴロさんの優しさを何度も無にしてしまっていたのです。

その度に背中を丸めて悲しそうに去って行くゴロさんの後ろ姿が今、目の前に映し出されます。小さく丸めたあの背中が物語る過去と現在の違いは、人情の温かみのあった昔と、欲望に満ちた冷たい現代社会にあると私は思います。

わたしは今、やっとそれに気づいたのです。ゴロさんは、自分のつらい過去にもめげず、自分に正直に生きています。この夜空に光る蛍のように、星々に負けないくらい一生懸命光っています。

でも今、人間らしく生きている人は何人いるでしょうか。品物の豊富な現代社会とは矛盾した〝ヒト〟の冷たさは、誰が悪いのではない。けれども歴史の流れに生じた、大きな子供のあやまちです。温かみの失われていく現代、自分は何かを想い出すのです。

田んぼも埋め立てられ川も汚され、蛍の光もあの頃に比べたら、小さく小さくなってきたのと同じように、今ゴロさんは貴重な存在です。だから気付いてほしい。蛍みたいに大切な人を。

明日、真夏の青空の下でゴロさんと会ったら、とびっきりの笑顔で

「ありがとう。」

って言います。

例えどんなに立派な羽がなくても、人間らしく生きていたいから。そして、幼かったあの日の自分を忘れないように―。

人権擁護委員に 青戸彦磨さん



人権擁護委員として新たに青戸彦磨さん（＝富田字前沼）が十一月十五日付で法務大臣から委嘱状が交付されました。

村では、青戸さんのほかに大楽勝男さんが委嘱されています。

人権擁護委員は、人権思想の普及、高揚と困りごと、もめごとでお困りの方の相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

◎大楽勝男さん
赤坂中野字大塩
☎49-2201

◎青戸彦磨さん
富田字前沼
☎49-2325

第45回鮫川村畜産共進会



第45回鮫川村畜産共進会が11月12日村民運動場で開かれました。

共進会には肉用牛31頭、乳用牛19頭が出品され、白河家畜保健衛生所長を審査長に８人の審査委員が、体型、色つや、バランスなどを基準に審査しました。

その結果、肉用牛の部で関根徳次さん（西山字戸倉）飼育の「とくこ」号が、乳用牛の部で蛭田晃さん（渡瀬字田苗下）飼育の「ラッキーランドアンテシペーションスター」号がそれぞれグランドチャンピオンに選ばれました。

愛の献血ありがとう

十一月十五日第三回健康まつりの会場で、三十四人の方々から献血にご協力いただきました。ありがとうございました。献血に協力された方は次のとおりです。（敬称略）

○**成分献血者**

▽蛭田啓喜（福原）▽岡部一良（青生野）▽斎須寛一（新宿）▽矢吹静（岨長）▽鷲野谷弘行（二反田）▽須藤ヨシ子（岩野草）▽本郷キミエ（落合）

○**全血献血者**（◎は四〇〇㎖）

◎岡部照夫（青生野）◎石井とよ子（西野内）◎北條恵美子（岨長）◎蛭田ます子（田苗下）◎児玉千雪（石川町）◎田子久子（真坂）◎円谷建一（中沢）◎矢吹照子（塩倉）◎石井とよ子（酒垂）◎石井智子（新宿）◎北條政子（岨長）◎三瓶春美（戸草）◎芳賀喜久江（中山）◎関根義明（西野内）◎鈴木芳保（大石草）▽北條洋子（岨長）▽前田ヌイ（宮代）▽圓井智子（鬼越）▽斉藤美津江（広畑）▽溝井君江（新宿）▽遠藤美智子（上耕地）▽芳賀清子（江竜田）▽高野カツ子（発地岡）▽芳賀重子（戸草）▽宗田輝子（道少田）▽鈴木綾子（西）

みんなで明るい年末年始を

12月10日から来年１月７日まで「ゆく年くる年笑顔で防犯」をスローガンに、年末年始防犯運動が実施されます。

みんなで防犯に心がけ次の点に注意しましょう。

◎おでかけやおやすみ前には、必ず戸締まりをしましょう。
◎自動車、自転車の管理には十分注意しましょう。
◎対話のある明るい家庭をつくり、地域ぐるみで少年を非行から守りましょう。



▲レンガと緑がマッチしたブリースベン市内をバックに

きらきらと輝き続けさせてくれたオーストラリア

鮫川村ふるさと後継者育成研修事業

村では、活力ある村づくりを支えるため、健康で創造性豊かな人材の育成が重要であり、二十一世紀をめざした人づくりが肝要であると考え、ふるさと創生事業の一つである「ふるさと後継者育成研修事業」が第三回を迎え、斎須信子さんを団長に九人の女性をオーストラリアへ派遣しました。ここでは、研修テーマにそった感想を掲載します。

参加者

斎須　信子　（新宿）
松本マサ子　（彦次郎）
橋本ミチ子　（道少田）
前田　春江　（官代）
鈴木眞理子　（大塩）
水野ひろ子　（伏木田）
森　よね子　（楢久保）
石井とよ子　（酒垂）
芳賀　美樹　（西野沢）



▲「階段のない家」で説明を聞く



◀クイーンズランド州環境省自然公園でカンガルーといっしょに

テーマ 環境保護

視察地（クイーンズランド州環境省）

州環境省管轄の動植物センターで、病気やけがをした動物を自然に一番近い状態で保護し、社会復帰できるようになるまで保護をしています。三十六ヘクタールのセンター内には、六十種類の動物が伸び伸びと生活していました。

「ここでは、あなたたちがおりの中にいるのですよ。」と笑いながら話す職員に、思わず納得しました。住民から保護された動物もここで育てられ、やがて自然に帰っていくそうですが、安全で居心地が良いので、逆に自然に戻れない動物もいるようです。

このセンターに限らず、自然を大切にし、動植物を愛する国民性に感心しました。

テーマ 医療・福祉

視察地（階段のない家）

「階段のない家」は、ゴールドコースト市街地のビルの中に身体や知能に障害のある人が、平等に雇用の機会が得られるよう職業訓練を目的としている民間施設です。現在大、小二つの施設を保有して



日程

月 日(曜)	スケジュール
9月2日（水）	成田発 ブリスベーンへ
9月3日（木）	ブリスベーン着 市内研修
9月4日（金）	ゴールドコースト ・クイーンズランド州環境省視察 ・階段のない家視察
9月5日（土）	ブリスベーン ・ホストファミリーと対面
9月6日（日）	ホームスティ
9月7日（月）	シドニー着 ・市内研修
9月8日（火）	シドニー ・産業物管理局視察 ・ニュー・サウス・ウェルズ教育委員会視察
9月9日（水）	シドニー発 成田着 鮫川村役場着



ニューサウス・ウェルズ教育委員会の研修を終えて



産業物管理局で熱心に説明を聞く

いますが、更に新たに大きな施設を一九九三年までに建設する計画を進めているようです。

私たちが訪問した施設は、小規模な通所訓練施設で、コンピューターやタイプライター、ホテル業の仕事などのトレーニングを受けることができ、就職活動も同時に行っています。一クラス十五人で二週間単位のトレーニングを受け、終了すると就職します。目的に見合ったトレーニングをしますが、また戻って再トレーニングをすることもあるそうです。トレーニングは、無料で現在十六歳から五十六歳までの人がトレーニング中とのことです。

訪問した時は、丁度学期の変わり目で実際にトレーニングしている状況は見ることができませんでしたが、以前にトレーニングを受けた人が手伝いに来ていたり、フルタイムの仕事じゃない人が遊びに来ているなど、とても開かれた施設であることに感心しました。

現在、三十人がトレーニングを待っている状況で、新しい施設の建設が待たれているようです。その施設は、造園業、喫茶店経営、お菓子作り、装飾品関係など、たくさんの職種の訓練に対応できるよう計画され、その予算は、総額六億円で、うち州政府とロータリークラブで一億円、あとの五億円は、一般住民からの募金によるもので、既に半分は集っているとのことでした。

障害者が独立した生活ができるよう州政府はもちろん、ロータリークラブ、更に地域住民などが、いかに力を入れているか、福祉への意識の高さ、取り組み方に感心するとともに、わが国、わが地域のあり方を考えさせられました。

テーマ 都市整備

視察地（産業物管理局）

日本だけでなくオーストラリアでもごみ処理問題は、大きな課題のようです。

産業物管理局の中に、学生や一般市民に環境問題を説明し、理解させたり、広報したりしながら環境整備に役立てている課があります。その職員の方からごみ処理の状況、問題点、今後の課題等について説明を受けました。

シドニーのごみの六十パーセントは、商業、産業廃棄物で、残りの四十パーセントが一般家庭からのごみだそうです。オーストラリアのごみは、すべて埋め立てするのですが、最近、埋め立て地もなく、ニンビイシンドローム（私の家の近くには、埋め立て地はつくらない。）という現象が起き、埋め立て地を見つけるのが困難な現状にあるようです。

そこで、埋め立てするごみを少なくするためにリサイクルを考えリサイクルできるごみは、一t当り十七ドル五十セント、びんは十セントの補助を与え、シドニー市内四十一区で年間四億四千九百万ドルを支出したそうです。

また、家庭のごみは、生ごみ処理容器の利用を促進させたり、過剰包装に対する企業への行政指導や一般消費者が物資の十パーセントの包装代を支払っていることを理解させ、お買物袋の利用を実施しているようです。

企業に対し、産業物は、ごみになるときまでを考えて作るという指導をし、ゴミ処理はいかにある



我が子を思い出しながら教育について考える



オペラハウスをバックに

テーマ 教育

視察地（ニュー・サウス・ウェルズ教育委員会）

子供を持つ親として大変興味深く臨み、意見交換もあり意義のあるものでした。

まず、この州の人口約五百四十万人に対し、千百人の職員がいる数育委員会の組織について説明を受けました。その中で、オーストラリアでは、上部で決められた教育方針では実情を把握していないことも含め、校長先生レベルの教育方針を採用し、現場から上部の事務レベルへ提案する形を採っています。また、小中学校の標準学級は一クラス三十人と日本に比べ少ないので、大変恵まれているし、一人ひとりの子供たちの個性をより尊重できると感じました。

日本の教育現場を視察されたスタッフの一人は、日本の子供の教育レベルが非常に高く、特に数学化学が優秀であると評価しながらも、日本の教育は詰め込み式で問題があると指摘されました。日本は、先生が一方的に話しをし、子供たちの授業への参加が少ないが、オーストラリアでは、先生を尊敬していますし、子供たちに話す機会を与えながら授業を進めているそうです。

日本の教育水準が高いということで、日本のシステム（オーストラリアは、土曜日は休みなので、授業をしたり、熟通いなど。）を受け入れるべきだという意見もあるようですが、日本のように小さいときから一流の学校や企業をめざす強い競争システムが、家庭内におけるストレスを大きくしておりそれで良いのか考えなければならないと話していました。オーストラリアでは、個人の能力を伸ばすため、人格を尊重して能力にあったカリキュラムを組んだり、応用できる（その科が合わなければ違う科へ異動できる）教育制度をとっているようです。それでは、競争心がなくなり、怠惰になるのではと、危惧されますが、勤勉ですし、共通一次の受験時に苦しむことを理解しているとのことでした。

「日本のシステムの良いところもありますが、オーストラリアのシステムも捨てがたいものがあり日本の教育について行けず、逃げてくる留学生も多くいるが、カリキュラムを変えたからといって安心できるものではなく、社会的論理を組み入れた教育を大切にしなければならない。」と話していました。

この視察地をあとに、子供への「勉強しろ！」と繰り返す押しつけを反省しながら、我が子を思い出し、帰路のバスに乗り込みました。

べきかのレポートを提出させ、ごみ処理に対する啓もうを図っています。ある企業に対し、発泡スチロールは土に戻らないので、紙やダンボールのようにリサイクルできるものの使用を指導し、変えさせた例もあるようです。

私達女性にとって身近なごみ問題であり、自らの手でできるわずかなことが、大きな輪となり、やがては、環境整備につながることを再認識し、視察を終えました。

涙ながらに手をふってお別れした

ホストファミリー



ホームステイを終えてホストファミリーとともに

今回の研修の中に二泊三日のホームスティを組みましたが、一人ずつのスティであったことや言葉の不自由さで、かなりの不安があったようです。しかしそれぞれに歓迎され、短期間の中にも女性の立場から、日常の生活を経験したり人間性にふれることができ、観光旅行では味わうことのできない貴重な体験でした。レポートの一部を紹介します。



オーストラリアでは男性も料理からあとかたづけをします



一番不安であったホームスティ。言葉の違いこそあれ人間同士です。明るい大柄な老いを感じさせない魅力的なおばさんと1対1でしたので、開き直って体当りで、楽しく過ごすことができました。

—斎須　信子　—

部屋は、暖炉が焚かれ、ステレオからクラシックの音楽が流れ、ワインを片手に、映画のワンシーンのようなひとときを過ごせた。今でなければできないと思い、思いきって参加して良かった。

— 松本マサ子 —



つい寝坊するほどゆったりと安心して過ごすことができましたし、最後の晩は、奥さんと２人だけで単語を調べながらの会話を楽しみました。長靴をはいてフォークを片手に農場をかけ回って見た夕やけ、忘れられません。

— 橋本ミチ子 —





惜しみなく言葉をかけ合う開放的な明るい国民性のすばらしさ、オーストラリアでの父の日には父と息子の長電話は、コーヒーを２回も入れ替えた程です。日曜日の教会活動に参加し讃美歌を歌ったり楽しい経験でした。

— 前田　春江 —

さりげないエスコート、ユーモア。ずっと以前から家族であったような錯覚と日本を忘れさせてくれたホームパーティでのおしゃべりや英語の発音のレッスン、歌ったり、踊ったり。出会いを本当に大切にしてくれた。

— 鈴木眞理子 —





オーストラリア人は、性格も体もダイナミックで明るく良く話し、良く食べます。サービス精神も旺盛で自分の町と人を大切にしていることに感心しました。ハードスケジュールのホームステイでしたが充実していました。

— 水野ひろ子 —

言葉はどうしようか、いろいろ不安でしたが、子供たちも伸び伸びと自然に育てているようで、物事の考え方なども小さなことはあまり気にしない感じですし、のんびりしてとても住み心地が良い所でした。

— 芳賀　美樹 —



国や言葉は、違っていても人の中に流れている心は共通なんだということ、多くを語らなくても、笑顔が言葉の何倍もの気持ちを伝えてくれることを本当に強く感じ胸をうたれました。

— 石井とよ子 —





食事の時は、ワイン、ジュースを飲み、１日の出来事を話しながら楽しく食事を進めていたのが印象的でした。客のもてなしも控え目で、日常生活と変わりないことに感心しました。

— 森　よね子 —

最後に、それぞれが、多少なりの困難さをのりこえ心の底からの「行って良かった。」のひとことにこめられた感激を忘れません。

この研修を企画し援助くださいました村をはじめ関係者の方々に感謝申し上げます。

研修者一同

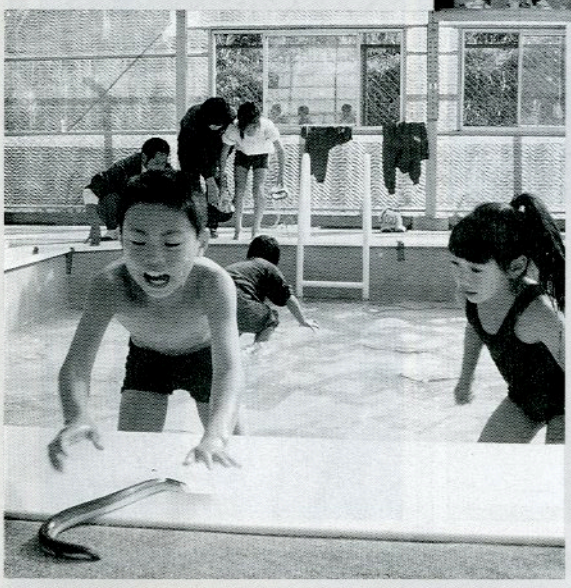
文化祭フォト



▲小・中学生学習発表会での西山小６年生熱演の「おおかみがきた」

第四十五回鮫川村文化祭の集中行事は、十一月十四日から十六日まで行われ、健康まつりや、お母さんお嫁さんに感謝する会、学習発表会などが開かれました。また、山村開発センターを中心に小・中学校児童生徒作品展、一般作品展、老人作品展などの各種作品が展示され、参観者を楽しませました。

東白農商鮫川分校では、三年に一度一般公開される山峡祭も十一月十五日に行われ、映画や模擬店などでにぎわいました。



▲トレセンプールでの〝うなぎのつかみどり大会〟は小・中学生に大人気



▲山峡祭の模擬店は安くておいしいと大好評



▲毎年好評の老人作品展出品物の競売



◀力作ぞろいの陶芸展



▲見事な出来栄えの菊花展



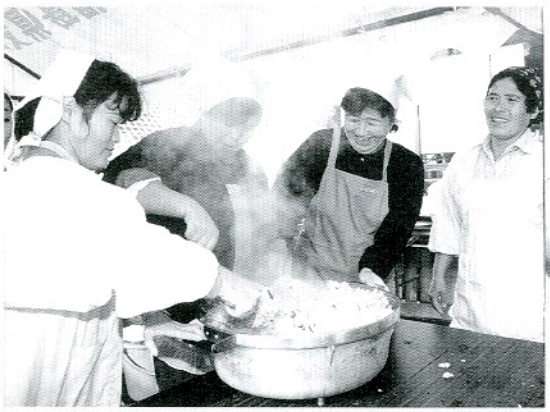
▶心を和ませる華道展

第45回 鮫川村



▲鮫小６年生の「強滝太鼓」は参観者を魅了しました。





◀▲保健推進員・生活改良推進員の皆さんの協力で調理した〝えび入りごはん〟と〝牛乳入りすいとん〟の試食は、おかわりするほどのおいしさでした。



▲お母さん・お嫁さんに感謝する会、よい歯のコンクール表彰



▲小・中学校児童生徒作品展



▲ライオンズクラブ、婦人会のチャリティーバザー



▲10月28日、ファミリーコンサートのアンコールは子どもたちがステージで大合唱

保健婦です

こんにちは

エイズってなに？

エイズとは、病気に感染しないようにと防御する機能、つまり免疫機能を破壊してしまう恐ろしい病気です。エイズ患者は十分な抵抗力がないので、普通の状態では考えられないような伝染病やガンにかかりやすくなります。

エイズ感染者との性行為、薬物乱用者との注射器と注射針の共用、さらに傷口にエイズ感染者の血が付くとうつることがあります。感染しても潜伏期間が数か月から約7年あるいはもっと長い場合もありますが、潜伏期間には症状はありません。この期間をすぎると、下のような激しい症状がしつこく続きます。

エイズの感染を防ぐ方法は麻薬を打たないこと、性交時の注意等が必要です。

エイズが、日常的な接触で感染したり、空気感染することはありませんので、正しい知識をもちましょう。

もし、エイズウイルスに感染したのではないかと思ったら、迷わず保健所に相談し、検査を受けましょう。

エイズウィルスに感染すると、どんな症状がでてくるの？

- 首のまわり、わきの下、股のつけ根のあたりのリンパ腺が腫れる。
- しょっちゅう寝汗をかいたり、熱をだしたりする。
- 原因もわからず、急激に体重が減る。
- 疲れやすくなる。
- 下痢をするようになり、食欲がなくなる。
- 口のなかに、白い斑点ができる。

このうちのどれかの症状が、1週間以上続くようなら、お医者さんに見てもらってください。

エイズが日常的な接触で感染したり空気感染することはありません。

ウイルスが、次のような原因で感染したという例は、今のところありません。

- ウイルス感染者と行動をともにする。
- 体に触れたり、握手をする。
- 食事を一緒にしたり、同じ食器や皿を使う。
- 正しい方法で、エイズウイルス感染者の世話をする。
- エイズウイルス感染者が使ったタオルやふとんに触れる。
- エイズウイルス感染者と同じトイレを使う。
- 献血する。
- 蚊やその他の虫に刺される。









手打ちうどんでいも煮会

西山愛育班　我妻トシ子さん

九月二十四日午後六時から西山愛育婦人会で手打ちうどんをつくりいも煮会を行いました。六月に行った親子料理教室で村の保健婦さんの指導によりカルシウムを上手に取ろうということで牛乳入の手打ちうどんが好評だったからです。

「父や母はいつも作っているけれど私ははじめてと言う人もいましたが、六月に一度体験している人もいましたので思ったより手際よくできました。「習うより、慣れろ」ですね。何事も体験するということはとても大切だと改めて感じました。

日中の仕事の疲れもふきとぶ様な笑い声とともに楽しいひとときをすごすことができました。

持ち寄った野菜でけんちん汁を作り、大根と人参のサラダもでき、自分たちの献立と上できの手打うどんに気分もお腹もまんぷくになり満足感にひたることができました。そしてこれから愛育班での勉強する事を話し合いながら計画をたてました。

※　11月号の中野保健推進員伝達講習の原稿は鈴木ツナさんでした。

楽しかった 村外視察研修



去る十月二十二日と二十三日に社会学級第六回講座が開催されました。今回は村外視察研修として、二本松市や岳温泉方面で研修を行いました。

第一日目の二十二日は、鮫川を十時に出発し、須賀川から二本松まで高速道路を利用し、お昼から二本松菊人形展を見学しました。その後、安達ヶ原黒塚（鬼婆で有名な観世寺）を巡り、午後三時に岳温泉に着きました。

今回の研修会の参加者は昨年にも増して総勢一〇九人にものぼり、夕方から行われた懇親会は大いに盛り上がり、各学級生親睦を深めることができました。参加者の中に多趣味、多芸の持ち主が多く、各学級の演芸発表など存分に楽しむことができました。

二日目の二十三日は、朝九時に宿舎を離れ、二本松城主の歴代の墓や二本松少年隊の墓が安置されている大隣寺を見学しました。その後、帰路につき、途中開港真近かな新福島空港を見学し、正午過ぎ全員無事に帰宅することができました。

今回の村外視察研修を通じ参加者はお互いの親睦を十分深め、有意義な研修ができたようです。

成人式の参加申し込みは 12月18日まで

第45回鮫川村成人式を平成5年1月15日（金）成人の日に挙行します。

就職や勉学のため村を離れている方（村に住民票がない方）で式典への参加を希望される方は、次によりお申し込みください。

★対象者

昭和47年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた方

★申込方法

成人者の氏名、生年月日、性別、現住所、父（母）名、続柄、父（母）住所を記入した用紙（様式を問いません。）を12月18日（金）までに山村開発センターに申し込んでください。

◉ 感想文募集

成人を迎える皆さんの感想文を募集します。

市販の400字詰原稿用紙2枚程度に成人を迎えるにあたっての感想、抱負等を記載して12月18日まで山村開発センターにお寄せください。

史資料を探る 辺土民間「子孫繁昌手引草」(3) 村史編さん室

「もしや子ゆいに難儀するとも、難儀を難儀とおもハ（わ）ずして子を育てるが親たるもののこころなり」

この一文は親と子の情において当然のことであるのを改めて説かれることで一層心にしみたにちがいない。更にこのことの説論の例として「焼野の雉子、にわとりの腹羽ぬき」に続いて次の一節を加えている。すなわち

「昔、子をはらみたる犬の腹を射破りたれば、逃げゆくとてその破れ口より魚のころ（犬の胎児）こぼれ落ちたるを親犬たちかえり、腹を破られて死する今はの時まで子をふびんがる有さまを見て、射殺したる人是非を悔み出家せしためしあり。虎・狼も親が子を殺すというは、かつてなき事なり。惣じて畜生は子を育てても子に養わるにもあらずあとをゆずるにもあらねども親となりては是非ともに子を憐れむ苦のものゆいに小さき蟻に至るまでもすわと言えば卵をくわえて逃げるなり。万物の霊長たる人間が鳥けだものだにせぬ子返し（間引き）をするは余りにもなさけなき事なり。」とある。

わかりやすい喩えによりじゅんじゅんと説諭する巧みさは見事と言うほかない。とりわけ犬の喩えは衝撃的でさえある。その光景を思い起せば今日の私どもでさえ目頭が熱くなるのを感じさせられる。

その結語が又、万物の霊（長）たる人間に重ねて「余りになさけなき事なり」と、子返しの非を決定的に言う。「なさけなき」との修辞には万感の思いが込められているように読める。心情に訴えて子返しの根絶を全うしようとする思いがまっすぐに伝わるのを受けたとき、その境遇に立つ人の親としての悲しみは何倍にも増副され、悔いと嘆きの涙をこぼしたにちがいない。

お知らせ

広報にあなたの写真がでていたらご連絡ください。さしあげます。

役場　☎49-3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5

手数料が変わります

平成5年1月1日から、戸籍手数料と登記手数料が次のとおり改定されます。

―戸籍手数料―

書類	手数料額
①戸籍の謄抄本	1通400円
②除籍の謄抄本	1通700円
③戸籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件300円
④除籍に記載した事項に関する証明	証明事項1件400円
⑤届出・申請の受理又は届書その他の書類の記載事項の証明書	1通300円
⑥上紙紙を用いた受理証明書（婚姻・離婚・養子縁組・養子離縁・又は認知の届出）	1通1,300円
⑦届書その他の書類の閲覧	書類1件300円

※なお、住民票・印鑑証明等については今までと同額です。

※郵便で住民票の写し等を請求するときは手数料分の定額小為替か切手と返信用の切手を同封してください。

―登記手数料―

書類	手数料額
①登記簿の謄本・抄本、登記事項証明書	1通800円
②商号・未成年者・後見人・支配人登記簿の謄本・抄本	1通400円
③登記簿又はその附属書類の閲覧	1登記用紙(事件)400円
④登記事項要約書	1登記記録400円
⑤地図又は建物所在図の全部又は一部の写し	1筆(個)400円
⑥地図又は建物所在図の閲覧	1枚400円
⑦登記事項に変更がないこと、ある事項の登記がないことの証明	1件400円
⑧印鑑の証明書	1件400円
⑨鉱害賠償登録簿の謄本・抄本	1通800円
⑩鉱害賠償登録簿又はその附属書類の閲覧	1登録用紙(事件)400円

税 法定調書提出は2月1日まで

給料、報酬、不動産の使用料などの支払者は、その支払先ごとに支払金額や源泉徴収税額などを記載した法定調書を税務署に提出することになっています。

一年間の支払い分を取りまとめて、平成五年二月一日までに提出しましょう。

詳しくは、郡山税務相談室（☎〇二四九-三四-六三〇〇）白河税務署（☎〇二四八-二二-七一一一）におたずねください。

福島県最低賃金が変わりました！

10月1日から福島県内の事業所で働く全ての労働者に適用される、福島県最低賃金が変わりました。

1日	1時間
4,128円	517円

NTTからのお願い

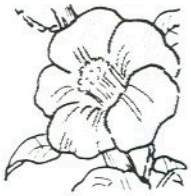
NTT石川・棚倉局では、次により交換機の取替工事を行います。このため他市町村との通話ができなくなりますのでご協力をお願いします。

平成四年十二月二十日
午前二時から数分間

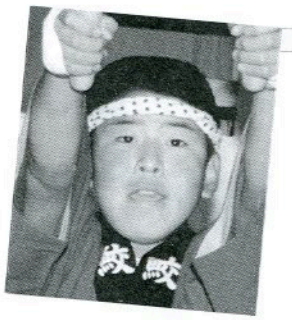
心あたたまる寄附

社会福祉事業のために
○内ヶ竜　中川西　春美様　一〇〇、〇〇〇円
亡父（光清様）の遺志により
○鮫川ライオンズクラブ　会長　我妻　久雄様　三〇、〇〇〇円
○西　高坂　喜朗様　第四十五回鮫川村文化祭
亡父（七朗様）の遺志により　チャリティーバザー益金　三〇、〇〇〇円
○折戸　阿久津　伸安様　○鮫川村婦人会
亡父（義郎様）の遺志により　会長　阿久津　澄子様　四〇、〇〇〇円
○木之根　津田　光雄様　第四十五回鮫川村文化祭
亡母（ハツノ様）の遺志により　チャリティーバザー益金　五〇、〇〇〇円
○鍬木田　渡辺　作太郎様　三七、〇〇〇円
亡母（キク様）の遺志により　○官代　江副　彰義様　（前田正則氏宅入居）　第四十五回鮫川村文化祭　老人作品出品益金　五〇、〇〇〇円
○木之根　遠藤　忠助様　一三、一五〇円

文芸







ジェーン先生の見聞録

Hello.! だんだん寒くなり、さびしい季節がやってきました。色とりどりの葉が落ちて、こがらしが吹き、かぜを引いている人がたくさんいます。でも、スキーやクリスマス休暇を楽しみにする時でもあります。

日本では、年末と正月は一年中で大切な時期です。しかし、ニュージーランド人は正月よりもクリスマスのほうを楽しみにします。クリスマスには家族が集まり、おいしい食物を食べ、仕事や学校からはなれ、くつろぐことができる時です。子供たちは両親からプレゼントをもらい、また、友達や家族のためにプレゼントを作ってあげます。

人々は友達に今年の自分にとっての重大ニュースをクリスマスカードに書いて送ります。

新年は一年の無事を祝い、来るべき良い年を願い盛大にパーティを開く時期です。人々は新年の抱負を決め、一年間その抱負が達成できるようにつとめます。

NZ（ニュージーランド）ではクリスマスと新年は夏にやってきます。それで、休みの日には浜べや森で水上スポーツやキャンプをしてすごします。サンタクロースは赤い半ズボンをはき、サーフボードに乗るなど、日本では見られないイメージチェンジをします。しかし、さけびごえはヨーロッパやアメリカなどと同じです。「ホー、ホー、ホー、ハッピークリスマス.!」

SEE YOU NEXT YEAR.!

Jane



俳句

冬がすみ杉の林をつつみ込む　大塩　矢吹　呂孝

横座　矢吹　茂
かろやかに落葉まわして走る風
福島市　中井　恒峯
捨て鉢の菊満開や文化の日
いわき市　金沢　暁舟
晩秋の試歩を休めて日和受く
前沼　黒田　寿香
粧いの山の錦や神無月
新宿　斎須　信子
上棟の柱打つ音秋の空
道少田　山本　朗史
柿の空たちまち雲のふるさとぶり
押目　北條素人坂
立冬の畦草いなごひそみいる
道少田　山本五十鈴
綿虫や会津は雪という予報
二反田　大平　太平
根元まで夕日射し込む落葉山
大久保　生田目孝子
廃屋や仏間に菊のあるさびし

短歌

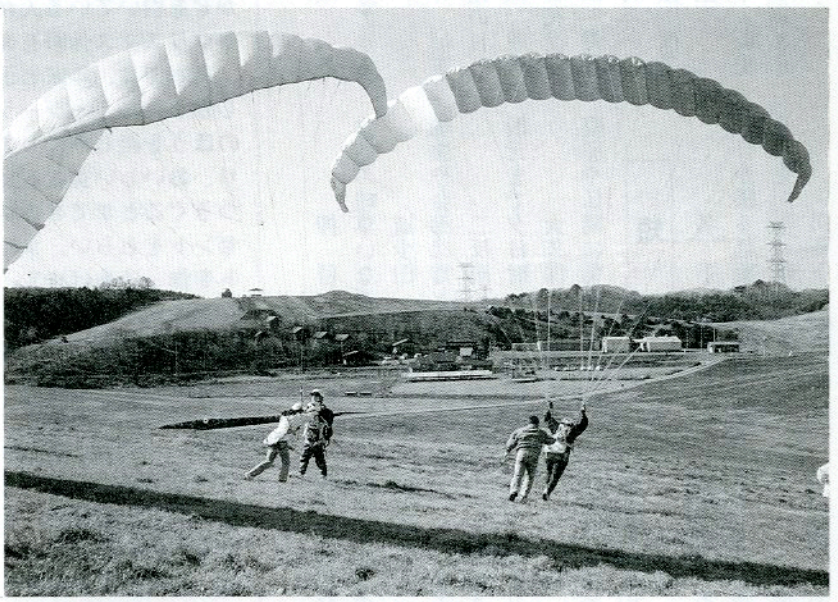
名下　須藤美代子
ヘリが撮る紅葉の山の裾を這う只見川面に映る白雲
田苗下　蛭田　正
稔り田の中に並びてコンクールの案山子のいくつ陽にかがよえり
大石草　鈴木イミ子
ガラス戸のあきつをそっと捕えては窓より放す今日の娘は
酒垂　石井　カヤ
夕暮れを歩めば虫の声しげくわが影長く引きずりており
官代　前田　栄美
袋田に劣らぬ景と人々の讃えて佇てり江竜田の滝
中野町　赤坂　朝子
バス停へと走る学童息切らしカバン振りふりわが前を過ぐ
越虫星　武
菊人形の花は丹精の花にして朝々を根に水をやるという
青生野　吉成　タカ
紅葉は風に追われて舗装路の上をちりちり音立てて飛ぶ
本坂　藤田　初枝
ひっそりと咲ける堤の白萩は在りし日の友の面影しのばす
田苗下　蛭田　浩市
同報無線と天気予報の両方を聞きつつ今朝も山入りを決める

ミニ防災訓練



11月11日　西山小学校県南西山少年消防クラブで、防火書道展や避難訓練、ミニ防災訓練が行われました。消防団・岩野草婦人消防隊・棚倉消防署鮫川分署の協力を得てのミニ防災訓練では、消火器を使っての消火訓練、バケツリレーでの消火等の訓練で防火の誓いを新たにしました。

〃大空に舞う〃



11月22・23日　鹿角平乾草供給センター草地でパラグライダー教室が開かれました。中学生以上の三十人の参加者は、インストラクターの指導で風をつかんで大空に舞い、スカイスポーツを楽しみました。

〃むじなっぱたき〃



11月14日　富田彦次郎地区の館山会で、五穀豊穣と無病息災を祈願する伝承行事「むじなっぱたき」が、旧の十月十日に秋の収穫を祝い行われました。ミョウガの茎をしんにして藁を束ねた棒で地面をたたき、「むじなっぱたきのお祝いで貧乏神たたき出せ、福の神持ち込め」と、八人の子供たちが元気よく厄を払いながら地区内を回りました。

フォトルポ・

防火・防犯パレード



11月9日　渡瀬小学校少年消防クラブで防火・防犯パレードを行い、火災予防と防犯を区民に呼びかけました。区内七か所を全児童の鼓笛隊が校歌などを演奏し〝火の用心〟などのプラカードを持ちながらパレードしました。一人ひとりが防火・防犯に心がけましょう。

ヤマメを放流

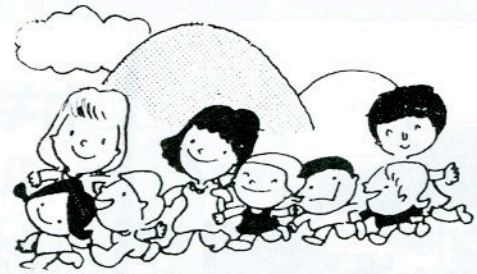


11月17日　鮫川村水産資源保護協会（高木正則会長）では、ヤマメの成魚一〇〇kg約二五〇〇尾を鮫川流域の二十か所に放流しました。ヤマメの体長は十五～二十センチで、来春までには、三センチくらい大きくなるそうです。

火災防御訓練



11月8日　消防団と棚倉消防署鮫川分署合同の火災防御訓練が行われました。赤坂中野区集落センターからの出火を想定して、ポンプ車等九台が出動し、中継、送水等の技術の向上と防御体制の確立を図りました。また、消防団員が各家庭を巡回する火防督励も行われ、火災の多発期を迎え、防火を呼びかけました。



ふれあいひろば

ふれあいひろばは、村民のみなさんに登場していただくページです。
2歳前後の〝お子さん〟と〝いろんな名人〟を紹介します。みなさんの意見、感想などもお寄せください。

名人登場

わが家のアイドル



寺島　和樹くん

（平成2年10月18日生）

寺島広実・美智代さんの二男（赤坂中野字巡ケ作）

〝10レンジャーごっこ〟が好きな遊びです。まだ保育所に入所していないのに、おにいちゃんの帽子をかぶり、保育所に行きたがっています。友だちが欲しいんでしょうねね。絵本も好きで、1度に5～6冊読まされます。

（おかあさん）

菊づくり名人

矢吹孝之助さん（81歳）

（赤坂中野字大塩）



第一回文化祭の二～三年前から菊づくりを始めたので、四十七年くらいになります。

二年前から簡単な肥土づくりはないかと考え、腐葉土、赤玉土、くん炭を買ってまぜたもので成功しました。この肥土に菊専用の乾燥肥料を使います。水やりは、毎朝九時頃暖水を充分にかけ、消毒は十日に一回ずつ八月いっぱい続ければ、誰でも菊花展に入賞するような菊づくりができます。

毎年、大菊十鉢、福助菊三十鉢ぐらいつくりますが、三分から五分咲きの花を見るのが一番楽しみです。

わたしたちの職場です⑦



私たちの勤めている中井住宅木販(株)は、昭和45年５月に創業しました。

住宅資材を専門に、月間約1,300㎥(4,650石)を生産し、中井グループの４店舗に出荷しています。

作業は、従来どおりの製材と、コンピューターを駆使したロボットが、今まで大工さんがしていた材木の墨付けやきざみをするプレカットがあります。

みなさんは、丸太の山を想像するでしょうが工場には丸太は１本もなく、角材ばかりです。この職場にもコンピューターが導入されて、近代的な作業になっています。

従業員は、19人で女性が５人います。

年に１度の慰安旅行やいも煮会、ボーリング大会などがあります。

今まで会社を辞めた人がいないのは、職場の良さのあらわれだと思います。ずっと同じメンバーで気心も知っているので、家族的な雰囲気で楽しく仕事をしています。



中井住宅木販株式会社
赤坂西野字寅卯平32－１　☎49－3161

●●●ふたりでバトンタッチ～⑲●●●



國島武人
♡奈津子さん
(赤坂中野字新宿)

武人さんは、國島武士さんの長男、奈津子さんは東京都東村山市の出身で、今年の七月十二日結婚式を挙げました。

ふたりは、都内にある専門学校の東京製菓学校で一年のとき同じクラスになり知り合って、学校卒業後もデートを重ね、四年間の交際を経てゴールインしました。

武人さんは、奈津子さんの〝ひかえ目なところ〟に、奈津子さんは武人さんの〝しっかりしているところ〟にひかれたそうです。

奈津子さんは、小学生の頃からケーキ屋さんになるのが夢だったとか。店を洋菓子とパンでいっぱいにすることがふたりの夢だそうです。

何でも話し合えるオープン的な家庭を築きたいということです。

ふたりそろってケーキ好きのあまーいおふたり。どうぞおしあわせに。

國島さんの紹介で
次は
生方浩志
♡
隆子
さんです

12月13日 午前10時スタート
第3回鮫川村民駅伝競走大会



コース 役場→前田→鬼越→発地岡→水口→滑石→酒垂→見渡→寅卯平→富田小学校前→広畑→役場前→官沢→宝木→酒垂→大塩→役場前

今月の人口 (11月1日現在)

(人口)	(男)	(女)	(世帯)
5,257人 (+2)	2,598人 (+1)	2,659人 (+1)	1,133戸 (+1)

こちら窓口

10/21から11/20の届出

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月日	保護者
西野内	関根(せきね) 光代(みつよ)	10/28	関根 明
青生野	岡部(おかべ) 里美(さとみ)	11/7	岡部 忠市
前田	金澤(かなざわ) 拓哉(たくや)	11/9	金澤 勝城

おくやみ申し上げます

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
内ケ竜	中川西光清	90	中川西春美
西折戸	高坂七朗	69	高坂喜朗
木之根	阿久津義郎	63	阿久津伸安
鍬木田	津田ハツノ	84	津田光雄
渡邊	キク	86	渡邊昭美

今月の納付

村県民税 4期分
国民年金保険料 12月分
納期限 12月25日

ゴミは収集日に

収集コース	種別	12月	1月
江竜田～中野町～福原～彦次郎～鍬木田～前沼～さぎり荘入口～広畑～巡ケ作～役場～保育所コース	可燃物	3.7.10.14.17 21.24.28	4.7.11.14.18 21.25.28
	不燃物	4.18	8.22
農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	3.7.10.14.17 21.24.28	4.7.11.14.18 21.25.28
	不燃物	4.18	8.22
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～酒垂～滑石～塚本～折戸～宝木～水口～落合～官沢コース	可燃物	2.9.16	6.13.20.27
	不熱物	3.17	7.21
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢～余所内～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	可熱物	2.9.16	6.13.20.27
	不熱物	25	29
越虫～青生野～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢コース	可熱物	2.9.16	6.13.20.27
	不熱物	2.16	6.20
官代～楢久保～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可熱物	2.9.16	6.13.20.27
	不熱物	4.18	8.22
鮫川分校（木曜のみ）、鮫中コース	可熱物	3.7.10.14.17 21.24.28	4.7.11.14.18 21.25.28
	不熱物	3.17	7.21

休日のお医者さん

月日(曜)	棚倉町	塙町	石川町
12月6日(日)	和田	中島	田中内科
13日(日)	勝田	車田	大野(病)
20日(日)	菅原	根本	原外科
23日(水)	大木	厚生病院	務川
27日(日)	東白川中央	—	—
29日(火)	—	—	三瓶胃腸科
30日(水)	—	—	大野眼科
31日(木)	—	—	山本
1月1日(金)	藤田	石川	大野(病)
2日(土)	杉山	—	石川中央
3日(日)	和田	—	三瓶胃腸科

心配ごと相談

行政相談
12月21日(月)
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後1時～午後3時までは、弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

あとがき

♥もてる力をふりしぼり懸命に走る選手をみるたび胸が熱くなりました。♥感動を与えてくれた関係者の皆さんごくろうさまでした。選手の皆さん〝ナイスラン〟でした。